

令和7年度 第2回朝来市健幸づくり推進協議会 議事録

日時：令和7年10月3日（金）13：30～15：30

場所：朝来市保健センター

出席委員：別添名簿参照

1 開会

2 会議成立、委員紹介

3 あいさつ

4 報告事項

(1) 計画素案の説明（資料1）

ア 令和7年度第1回協議会で出た意見を踏まえた素案と計画書の構成案

イ 具体的な取組〔第1部第2章〕について

—事務局から資料1及び追加資料について説明—

委員：

82頁の「休養・こころの健康づくり」の課題の5つ目「公認心理師」が「士」になっています。80頁には正しく「師」が用いられていますが、この間違いについてはSNS等でも話題にされることがあります。先日も市のLINEで送られてきたカウンセラーのチラシにも同じ間違いがあったので訂正していただいたところです。今後とも一貫していただけるとありがたいです。

会長：

ありがとうございます。他にご意見はありませんでしょうか。それでは意見交換に移りたいと思います。

(2) 意見交換：素案について

—事務局からグループワークについて説明後、意見交換—

—グループワークの意見まとめ発表—

1 グループ（分野1：健康診査・健康管理／分野2：身体活動・運動）

〈分野1について〉

- ・ 目標値の各健診・検診の受診率は加入している保険や本人かどうか等で受診率が変わってくるため、もう少し検討が必要。
- ・ 健診・検診受診率を上げるためには医師会と連携し、かかりつけの先生から受診をすすめてもらってはどうか。
- ・ がん検診は簡単に受診できることをもっと周知した方がよい。（NHKの番組

- とのコラボ等インパクトも大事)
- ・ 個別の特定健診は、誕生月等に勧奨ハガキ等を送って受診を勧奨してはどうか。
 - ・ 申込期限を過ぎた年度途中からの勧奨方法にも工夫が必要。

〈分野2について〉

- ・ 評価指標にある日常的に運動しているかという設問について、朝来市の実情としては車移動が多いことや運動できる施設が少ないこともあるので、「1日20分以上掃除しているか」、「畑や田んぼ仕事をしているか」というような朝来市独自のものでもいいのではないかと。さらに、「この日常動作は15分歩くのと同じような効果がある」というような説明を入れるといいのではないかと。

〈分野3について〉

- ・ 歯医者にかかるのも大事だが、前段階でのセルフケアも大事。

2グループ（分野4：休養・こころの健康／分野5：たばこ／分野6：アルコール）

〈分野4について〉

- ・ 目標値は国や県が数値で示しているものは、同じように数値で示した方がわかりやすい。

〈分野5について〉

- ・ 禁煙外来については、医療機関によって受け付けているところとないところがある。個人・家庭の目標に「禁煙外来も活用しましょう。」とあるが、それに対する行政の取組として、地域の支援の状況を把握した上での周知や個人・家庭が取り組めるように行政が何をするかという視点も大切。

〈分野6について〉

- ・ 意見なし

〈その他について〉

- ・ 行政・教育機関の取組ではライフステージ別も表記されているので、『個人・家庭』や『地域・職域・関係団体』にもそれぞれの取組のライフステージ別の表記があれば、この取組は誰に対しての取組かわかりやすくなるのではないかと。

3グループ（分野3：歯・口腔の健康／分野7：栄養・食生活、食育推進／

分野8：すこやか親子）

〈分野3について〉

- ・ 歯・口腔の健康については、虫歯以外の内容も入っているので、方向性としてよいと思う。
- ・ ⑤⑥の目標値はもう少し低くした方が達成感が得られてよいのではないかと。80%くらいが現実的。

- ・ 高齢者の口腔ケアの意識が高まっている印象がある。特養では口腔管理が義務化され、ケアマネジャーの意識も高まっている。
- ・ 学校の歯科健診は歯科衛生士の人材確保が難しくなってきているので、確保策についても検討いただきたい。
- ・ ⑧の目標値は、かかりつけの先生に頼るだけではなく、セルフケアの強化や教育についての内容も入れた方がよい。

〈分野7について〉

- ・ 栄養・食生活、食育推進について、自分に合った情報を手に入れられるような取組を追加してはどうか。
- ・ 減塩は単に塩分を減らすだけではなく、香辛料を上手に使うことも減塩につながるということを追記してはどうか。
- ・ 口腔機能発達不全症が最近増加傾向にあり、その背景として食生活の変化や、口の遊びをしなくなった子どもの増加等が原因と考えられるため、保護者の方に口を上手く使う方法や遊び方などを伝えていくことが必要であり、取組にもそういった内容を追加してはどうか。

〈分野8について〉

- ・ 意見なし

〈その他について〉

- ・ 全体的な内容として、「〇〇してはいけない」ことを言い換えしているような印象を受けるものもあるので、「これをしたらよいことがある」や、「幸福感を得られる」といったような表現にしてはどうか。

追加意見

委員：

- ・ 分野8の評価指標で「親」と「保護者」の表記について、使い分けの意図がないのであれば表記を統一してはどうか。
- ・ 今後、人口減少が加速していくのであれば、「持続可能」、「Well-being」といった内容を入れ込んではどうか。市民一人ひとりが自分事として捉えることが大切。それには「(健康のために) 〇〇をすると△△を得ることができる」といったお徳感が効果的ではないか。

会長：

大きなことから細かいことまで、さまざまなご意見が出たかと思いますが、この計画の評価は定期的に行っている調査と連動しているので、なかなか評価項目を変えにくい部分もあります。

調査票送付する際に健康に関する情報も一緒に送られているのですか。ただ単に設問で「日常的に運動をしていますか。」と聞かれると「していない」と答えてしまうけ

れど、雑巾がけや草刈りも運動に入るといった情報が入っていたら意識も変わるのではというご意見がありました。歯・口腔でも同じような意見がありましたが、そういった情報を調査票に同封するといった工夫を行うと啓発につながっていいなと思って聞いていました。

歯・口腔に関しては、歯に注目して口腔機能全般があまり注目されていない印象があるので、活舌とか飲み込み、子どもの歯と口腔の発達の問題、さらに香辛料の話もそこに入れ込んでいただくとみなさんの知識がつくかと思います。

いろんな情報を入れ込んで、だから（調査で）聞いています、こういったことを変えていきたいですというようなメッセージを発信しつつ調査を実施してはどうかと思いました。

がん検診や健診に関しては、目標値があまりにも現状値とかけ離れているというところで、誰を対象にしているか等、もう少し精査して正確な現状値を把握した上で目標値を立てるようにしてはどうかという意見が出ていましたが、非常に重要かと思います。

それぞれの取組に対してライフステージが書かれていないというご意見がありましたが、すべてのライフステージに関わってくる内容もあるかと思うので、分けにくいのかと思いますが、特に注目すべきライフステージを入れ込んだらよいかと思います。ご検討をお願いします。

事務局：

グループワークの中でのご意見や、ごんどうせんせい会長のまとめの中にあつたことで少し補足をさせていただきます。

アンケートにつきまして、「日常生活の中で、体を動かすこと（生活活動）を実行していますか。」という設問に対しては、「歩く、犬の散歩をする、そうじをする、自転車に乗る、速歩きをする、子どもと活発に遊ぶ、農作業をする、階段を速く上るなどと同様の動きを指します。」という説明を入れさせていただいております。そういった形でアンケートを取って、現状値として載せておりますので、次回の調査でも記載させていただいて、同様に評価ができるようにと考えております。

生活習慣病や飲酒量についても、説明を記載しております。資料の内容だけですと、わかりにくいと思いますので、できればそういった説明を次回の会議までに追記して、この評価は何から取っているかをわかるようにしていきたいと思います。

会長：

今の説明を受けて、何かご意見ありますでしょうか。

委員：

例えば、雑巾がけ何分がジョギング何相当とかが示されているとモチベーションが上がるかと思います。

事務局：

他市町の計画を見ると、そういう情報を入れられているところもありますので、検討してみます。

副会長：

全体のことで、現行計画は前段に現状があり、現状こうだったから今後こうしようという流れとなっています。今回の資料ではいきなり計画の中身になっています。市民が見たときに、現状こういう問題があるからこういうことをしましょう、という流れの方が計画書としてわかりやすく思いますが、いかがでしょうか。

事務局：

取組内容がすぐわかるようにということで今回は前に持ってきました。しかし、この構成では根拠が示されないまま取組が記載されていることに違和感があり、現行計画の構成の方がよかったという意見もいただいたので、次回は構成も再検討させていただいて、修正する形でお示ししたいと思っています。

副会長：

10年間の計画なので、朝来市の10年後の像を予想するに一番大きな問題は人口減少で、高齢者の計画では担い手不足がフォーカスのひとつになっています。行政・教育機関の取組に市の担当課が記載されていますが、各担当課がさまざまな取組をできることに越したことはないのですが、今できていることも多分10年後には職員数も減っていると予想される中で、担い手不足について、わからないなりにデジタル化や民間の機関との協力等、何かしら計画の中で指針や取組を示すべきでしょうか。

事務局：

おっしゃっていただいた内容について、具体的な記述は難しいと思いますが、こちらで検討し、次回の資料に必要ななら追記して、またご確認いただきたいと思っています。

会長

それに関連して、居場所についての設問は入っていますか。

事務局：

居場所につきましては、65歳以上対象の介護保険についてのアンケートには入っていて、指標としていたかと思います。健康増進の方では設問に入れてなかったと思います。

会長：

今後はそういう新しい内容も入れ込んで調査をし、計画策定することになりますか。フレイルにしても今はアイフレイル等の新しい言葉も出てきていますので、それにどう対応していくのか。

事務局：

新しい内容や言葉については、国や県の計画と連動させていく中で、市の計画ではどこまで入れるか、それをどのように評価できるかを検討していく必要があります。

会長：

以上で予定していました協議の内容は終了しました。それでは事務局にお返しします。

事務局：

活発な意見交換ありがとうございました。

本日いただきましたご意見につきましては、事務局で協議・検討させていただきまして、次回会議資料（計画案）に反映させていただきます。追加のご意見がございましたら、お手元にお配りさせていただいております意見用紙に追加意見をいただけますと幸いです。作業の関係上 10 月 8 日（水）までに F A X もしくはメール等でご意見いただけますようお願いいたします。

5 その他

事務局：

本日の協議会の内容につきましては、冒頭で説明しましたように、要約し行政資料として開示させていただきます。個人が特定できない方法で記載したものをホームページで後日公開いたします。委員のみなさまにおかれましてはご了承いただき、後日、議事録を送付させていただきますので、内容の確認をお願いいたします。

なお、第 3 回協議会につきましては、11 月 13 日（木）午後に予定しております。お忙しい時期になるかと思いますが、次の会議出席もよろしくをお願いいたします。

本日の会議の閉会にあたって、閉会の挨拶を馬庭副会長をお願いいたします。

6 閉会

副会長：

みなさん、長時間ありがとうございました。また来月ということで、お忙しい時期とは思いますが、朝来市のために何卒よろしく申し上げます。